

さいたま市政問題 シンポジウム どうする？さいたま市政

2月10日(金)

午後6時30分開始(午後6時開場)

市民会館おおみや 集会室1



パネラー

岩見良太郎さん(埼玉大学名誉教授、再開発問題のスペシャリスト)
さいたま市の再開発問題徹底分析

高田 満 さん(保育園園長)さいたま市の保育行政の現状と課題

久保 みき さん(日本共産党さいたま市議)さいたま市議団の交通政策

2023年が開けましたが、未曾有の物価高騰が市民生活を直撃しています。今後も電気料金をはじめ、あらゆる生活物資の第2次、第3次の値上げが避けられない状況です。しかも、物価高騰に追い打ちをかけるように、昨年12月に岸田政権は大軍拡と増税の方針を打ち出し、敵基地攻撃能力の保有など戦争する国へ大きく踏み出そうとしています。

このように、さいたま市民が岸田政権による暮らしと平和の破壊に直面しているいま、さいたま市は何をしているのでしょうか。さいたま市は昨年、18歳以下の子どもへ1万円の給付を実施しましたが(これはこれで大事な成果ですが)、次がありません。国の政策以上のことはやらないのが、さいたま市の一貫した姿勢です。さいたま市は政令市第3位の財政力がありながら、国保料や介護保険料を上げ続け、公立保育園を削減するなど福祉や暮らしの予算を削り続けています。一方で、駅前再開発や市役所移転など大型開発には、湯水のように税金を投入しています。

昨年春、現地建て替えの10倍、658億円もの税金を投入した「市民会館おおみや」が入る再開発ビルが開業しましたが、街おこしのはずの商業スペースはガラガラ、今も空き店舗だらけです。一体何のための再開発だったのでしょうか。浦和でも同様の再開発ビルが建設中で、大宮と同じ結果になりかねません。ハコモノ行政批判で登場した清水市政、今ではオール与党に支えられ、ハコモノにどっぷりつかって無駄使いにいそしんでいます。

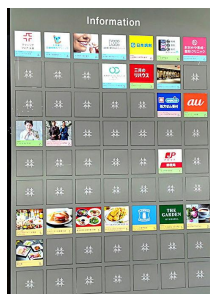
さいたま市政の問題点をあぶり出し、市民の力でさいたま市政を変える第1歩とするために、「どうする？さいたま市政」と銘打って、上記の日程でシンポジウムを開催します。パネラーは、それぞれの分野のスペシャリストをお招きしました。平日夜の開催になりますが、ぜひ、ご参加ください。コロナ対策として、広い会場を確保しました。マスク着用でご来場ください。

◎できれば、各団体でまとめて、参加人数をお知らせください。飛び入り参加も歓迎します。

◎午後5時45分から再開発ビルの現地見学会を行います。(1階の中央エスカレータ前集合)



表示のないパネルは空き店舗(3分の2ほど)
クリスマス商戦中にもかかわらず、人気のない再開発ビル正面入口



主催「平和・民主・革新の未来を開くさいたまの会」問合せ jimukyoku@mirai-saitama.org